

一般社団法人日本アレルギー学会
2020年度 事業報告書
(2020年4月1日から2021年3月31日まで)

I. 会員の異動状況

1) 正会員

2020年3月31日現在	12,027名
2021年3月31日現在	12,299名
増減数	272名 (増)

内訳	新入会員	693名
	除退会員	400名
	物故会員	21名

役員(理事・監事)、代議員			
2020年3月31日現在	理事26名	監事2名	代議員383名
2021年3月31日現在	理事26名	監事2名	代議員382名
増減数	0名	0名	1名 (減)

2) 名誉会員	2020年3月31日現在	36名
	2021年3月31日現在	35名
	増減数	1名 (減)

3) 賛助会員	2020年3月31日現在	27社
	2021年3月31日現在	26社
	増減数	1社 (減)

II. 事業の状況

1. 学術大会、講演会等の開催(定款 第5条 第1号)

1) JSA/WAO Joint Congress 2020 (第69回日本アレルギー学会学術大会)

会期: 2020年9月17日(金)~10月20日(火)

開催方法: Web開催 (Keynote Lectureと石坂ご夫妻追悼行事を含むOpening Ceremonyは京都国際会館よりLive配信、特別プログラム・一般演題とも全プログラムをWebでOn demand配信)

参加者数: 7,247名 (視聴参加者数5,419名)

特別プログラム: Keynote Lecture、Opening Ceremony、Plenary Lecture (8セッション/24演題)、Symposium (40セッション/115演題)、教育講演 (14セッション/26演題)、教育セミナー (24セミナー)

一般演題: 761演題 (英語: Mini Symposium142演題、Poster460演題、日本語ポスター159演題)

(抄録: 特別演題: アレルギー69巻6・7号、一般演題: アレルギー69巻臨時増刊号に要旨掲載)

2) 第7回総合アレルギー講習会

会期: 2021年3月6日(土)~7日(日)

会場: 神戸コンベンションセンター

<開催延期: 2021年6月5日(土)~6日(日) 神戸コンベンションセンター+WEB配信>

3) 第3回臨床アレルギー講習会

会期: 2020年11月3日(火・祝)

開催様式: Web開催 (ストリーミング配信)

受講者数: 1,003名 (会員 699名、非会員 304名)

講義数: 12 (講義6、実技指導(ビデオ) 6)

3) 地方会

全国8支部（北海道、東北、関東、北陸、東海、近畿、中国・四国、九州・沖縄）

【地方会開催状況】新型コロナウイルス感染拡大に伴い、2支部の地方会が中止となった。

○第2回北海道地方会 2020年10月予定→ 開催中止

○第3回東北地方会 2021年2月予定→ 開催中止

○第4回関東地方会

会 長： 後藤 穰（日本医科大学付属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科）

開催日： 2020年11月28日（土）

場 所： 秋葉原コンベンションホールおよびWEB開催

○第5回関東地方会

会 長： 海老原伸行（順天堂大学医学部附属浦安病院眼科）

開催日： 2021年3月27日（土）

場 所： 秋葉原コンベンションホールおよびWEB開催

○第2回北陸地方会

会 長： 原 丈介（金沢大学附属病院呼吸器内科）

開催日： 2020年11月15日（日）

場 所： Web開催

○第2回東海地方会

会 長： 藤澤 隆夫（国立病院機構三重病院）

開催日： 2021年3月21日（日）

場 所： Web開催

○第3回近畿地方会

会 長： 西村 善博（神戸大学医学部附属病院呼吸器内科）

開催日： 2020年3月22日（日）＜開催延期：2020年7月24日（金・祝）→ 開催中止＞

場 所： 神戸国際会議場

○第4回近畿地方会

会 長： 村木 正人（近畿大学医学部奈良病院呼吸器・アレルギー内科）

開催日： 2020年10月25日（日）

場 所： 奈良県コンベンションセンターおよびWeb開催

○第5回近畿地方会

会 長： 吉田 晃（日本赤十字社和歌山医療センター小児科）

開催日： 2021年3月28日（日）

場 所： ホテルアバローム紀ノ国およびWeb開催

○第2回中国・四国地方会

会 長： 横山 彰仁（高知大学医学部呼吸器・アレルギー内科）

開催日： 2020年3月7日（土）～8日（日）＜開催延期 → 誌上開催＞

会 場： 高知市文化プラザかるぽーと

○第3回中国・四国地方会

会 長： 金廣 有彦（岡山労災病院）

開催日： 2021年3月13日（土）

場 所： 岡山国際交流センターおよびWeb開催

○第2回九州・沖縄地方会

会 長： 黒野 祐一（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学）

開催日： 2020年3月7日（土）＜開催延期 2020年7月23日（木・祝）→ 誌上開催＞

場 所： TKPガーデンシティ鹿児島中央

○第3回九州・沖縄地方会

会 長： 出原 賢治（佐賀大学医学部分子生命科学講座分子医化学分野）

開催日： 2021年2月20日（土）

場 所： Web開催

2. 学会誌、ガイドライン、その他の刊行物の発行（定款 第5条 第2号）

- 1) 和文誌「アレルギー」 69巻3号～10号(6・7号は合併号、一般演題抄録は「臨時増刊号」として発行)、70巻1～2号、計10回発行

発行日 69巻3～10号 (5、6、7、9、11、12月各1日) 6・7号合併号 (8月20日)、臨時増刊号 (10月25日)、70巻1～2号 (2、3月毎月1日)

発行部数 69巻6・7号 (合併号) 冊子 約12,500部 及びJ-stageにオンラインジャーナル掲載
69巻 (臨時増刊号) 冊子 約12,250部 及びJ-stageにオンラインジャーナル掲載
69巻3号～70巻2号 (通常号) 冊子 約11,950部 及びJ-stage、メディカルオンラインにオンラインジャーナル掲載、また、電子書籍KaLibに掲載

- 2) 英文誌「Allergology International」 69巻2号～70巻1号 年4回発行

発行日 2020年4月、7月、10月、2021年1月 オンラインジャーナルと冊子体

発行部数 冊子体1,500部を発刊、希望者のみ配本

エルゼビアのScience Direct及びJ-stageにオンラインジャーナル掲載

- 3) 英文ガイドラインの発行 Allergology International 70巻3号に収載

3. 専門医、指導医、教育研修施設等の認定（定款 第5条 第3号）

- 1) 令和3年度 専門医の認定

申請者 262名

2020年12月15日 資格審査委員会にて書類審査 262名を受験有資格者と判定

2021年1月31日 試験中止 受験予定者262名の受験資格は次年度試験に適用

- 2) 2020年度 指導医の認定

申請者31名について、資格審査委員会にて随時審査 31名を新たに指導医として認定

- 3) 2020年度 教育研修施設の認定

教育研修施設への申請41科、準教育研修施設への申請30科について、資格審査委員会にて随時審査
教育研修施設 41科、準教育研修施設30科を新たに認定

- 4) 令和3年度 専門医の更新認定

申請者640名 資格判定会議にて640名の更新を認定

- 5) 令和3年度 指導医の更新認定

申請者120名 資格判定会議にて120名の更新を認定

- 6) 令和3年度 認定医の更新認定

申請者2名 資格判定会議にて2名の更新を認定

- 7) 令和3年度 教育研修施設の更新認定

教育研修施設の申請132科 資格判定会議にて132科の更新を認定

準教育研修施設の申請17科 資格判定会議にて17科の更新を認定

4. 研修及び教育の実施（定款 第5条 第4号）

- (1) 専門医教育セミナー

1) 第57回 2020年8月7日～9月6日 e-learningによるWeb開催

2) 第58回 2020年10月1日～20日 e-learningによるWeb開催

- (2) 専門医制度集中研修 (第14回相模原臨床アレルギーセミナー：共催)

2020年8月21日～9月23日 e-learningによるWeb開催

5. 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款 第5条 第5号）

- 1) 2020年度海外研究留学助成金

学会誌および学会ホームページにて公募、応募者5名について選考、下記4名に決定した。

[受賞者]

(五十音順、所属は応募受付時)

岩崎 成仁 (大阪市立大学大学院医学研究科分子病態学)

徳永 佳尚 (久留米大学医学部内科学講座呼吸器・神経・膠原病内科部門)

沼田 貴文 (Stanford University School of Medicine, Department of Pathology)

福田 陽佑 (昭和大学医学部内科学講座 呼吸器・アレルギー内科学部門)

2) 2020年度(第17回)日本アレルギー学会学術大会賞

2020年度本学会学術大会(第69回学術大会)で発表された研究業績を対象として学会誌および学会ホームページにおいて公募、応募者8名について選考、下記5名に決定した。

[受賞者]

(五十音順、所属は応募受付時)

赤川 翔平(関西医科大学小児科学講座)

「Decreased butyric acid-producing bacteria in the gut microbiome of children with egg allergy」

織田 好子(神戸大学医学部附属病院皮膚科)

「Improved FcεRI-mediated basophil reactivities reflect rapid-responses to omalizumab in chronic spontaneous urticaria」

菅野 峻史(東京薬科大学免疫学教室)

「Latent 1,3-β-D-glucan acts as an adjuvant for allergen-specific IgE production induced by Japanese cedar pollen exposure」

木戸口正典(福井大学医学部附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

「Association between the NOS2 pentanucleotide repeat polymorphism and risk of postoperative recurrence of chronic rhinosinusitis with nasal polyps in a Japanese population」

林 浩昭(Harvard Medical School, Division of Allergy and Clinical Immunology)

「Omalizumabはアスピリン喘息にアスピリン(NSAIDs)耐性を誘導する」

3) 2020年度臨床研究支援プログラム

学会員が行う臨床研究の推進や将来の研究のスタートアッププログラムとしての支援のために設置された。2020年度は、新規応募21件の内4件、継続応募への応募者2件から2件が受賞した。研究推進委員会の審査を経て、理事会承認を経て決定した。

【新規応募分】

(五十音順、所属は応募受付時)

① 代表研究者:石川 正昭(兵庫県立尼崎総合医療センター)

研究課題名:コリン作動性抗炎症反応経路に焦点を当てた慢性副鼻腔炎の新たなエンドタイプ分類が有する臨床的意義の検証

② 代表研究者:坂下 雅文(福井大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

研究課題名:急増する学童のアレルギー性鼻炎予防の社会実装に向けた基礎研究

③ 代表研究者:鈴木 正宣(北海道大学大学院医学研究院耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室)

研究課題名:難治性副鼻腔炎に対する亜鉛補充によるPrecision medicineの開発

④ 代表研究者:平井 啓太(静岡県立大学薬学部臨床薬効解析学分野)

研究課題名:重症喘息患者のプレシジョンメディシンを目指した血中バイオマーカーの構築

【継続応募分】

① 代表研究者:松山 政史(筑波大学呼吸器内科)

研究課題名:重症喘息において、Benralizumabの治療効果を予測するバイオマーカーの探索

② 代表研究者:千貫 祐子(島根大学医学部附属病院皮膚科)

研究課題名:ω-5グリアジン感作型小麦アレルギーの疾患感受性遺伝子の探索とその臨床応用の可能性

4) 基礎研究支援プログラム

本学会では、「Novartis Pharma Grants for Basic Research 2020」の支援を受け、「基礎研究支援プログラム」を新設した。対象として気管支喘息に関連する基礎研究について募集したところ、26件の応募があり9件が受賞した。研究推進委員会の審査を経て、理事会承認を経て決定した。

(五十音順、所属は応募受付時)

① 代表研究者: 岩田 有史(千葉大学大学院アレルギー・臨床免疫学)

研究課題名: エピジェネティックアプローチによる新規Th2細胞分化誘導機構の解明

② 代表研究者: 奥西 勝秀(群馬大学生体調節研究所遺伝生化学分野)

研究課題名: Th2細胞の分化誘導を制御する新奇分子基盤の解明

- ③ 代表研究者： 折茂 圭介 (国立成育医療研究センター研究所免疫アレルギー・感染研究部)
研究課題名： 成人特異的 ILC2 に着目した成人発症好酸球性喘息の病態解明
- ④ 代表研究者： 際本 拓末 (筑波大学医学医療系呼吸器内科)
研究課題名： 細胞外マトリクスによる炎症制御に着目した新規喘息病態の探索
- ⑤ 代表研究者： 木庭 太郎 (大阪大学大学院医学系研究科 呼吸器・免疫内科学)
研究課題名： 最新オミクスを駆使したマルチオミクスによる気管支喘息のバイオマーカー開発
- ⑥ 代表研究者： 田代 宏樹 (佐賀大学医学部附属病院 内科学講座呼吸器内科)
研究課題名： 腸内細菌叢を標的とした肥満喘息の制御：マクロライド系抗菌薬の役割
- ⑦ 代表研究者： 布村 聡 (佐賀大学医学部分子生命科学講座分子医化学分野)
研究課題名： ヒト化マウスを応用したヒトの免疫反応によるアレルギー性気道炎症の機序解明に関する研究
- ⑧ 代表研究者： 山田 充啓 (東北大学大学院医学系研究科呼吸器内科学分野)
研究課題名： 活性イオウ分子種に着目した ILC2 制御機構の解明と新規喘息治療法の基盤確立
- ⑨ 代表研究者： 吉田 和史 (筑波大学大学院人間総合科学研究科 (呼吸器内科))
研究課題名： 脂質代謝異常がもたらす喘息重症化機序の解明～個別化治療への臨床応用を目指して～

6. 関連学術団体との連絡及び協力 (定款 第5条 第6号)

- 1) 専門医制度関連：「第2回内科系サブスペシャルティ15学会協議会」(2020年12月2日)にWeb参加、「第3回日本内科学会専門医制度審議会 サブスペシャルティ領域審査協議会」(2020年12月17日)にWeb参加、「第3回内科系サブスペシャルティ学会協議会」(2021年3月5日)にWeb参加
- 2) 公益財団法人日本アレルギー協会との連携協力：第69回学術大会共催。同協会主催「アレルギー週間」(2021年2月1日～28日)を後援。
- 3) 内科系学会社会保険連合：アレルギー関連委員会運営団体として社員総会・運営委員会に参加。内保連例会及び呼吸器関連委員会・遠隔医療関連委員会に委員参加。アレルギー関連委員会を開催し、2022年度診療報酬改定に向けての医療技術評価や再評価の提案の調整を行い、関係学会と共同で実施した。
- 4) 日本医学会：評議員会、臨床部会、医学用語委員会等に委員派遣、分科会としての活動に参加。
- 5) 日本医療安全調査機構：診療行為に関連した死亡の調査について協力関係学会として、全国7ブロックの統括責任者、ブロックごとに推薦担当者窓口および個別調査部会員を配置し、協力体制をとっている。なお、2020年10月26日付文書により1件の支援要請があり協力した。
本学会は日本医療安全調査機構の社員として、社員会費(医療安全分担金)を拠出した。
- 6) COVID-19に関するインターネット調査
 - ①気管支喘息に関するCOVID-19の影響についての調査
本学会、日本呼吸器学会、日本喘息学会との3団体共同で医師や患者に向けた調査を実施した。
 - ②COVID19流行に伴う喘息診療に関するアンケート調査
本学会、日本呼吸器学会・日本小児アレルギー学会・日本喘息学会との4団体共同で各々の会員に向けた調査を実施した。

7. 国際的な研究協力と交流の推進 (定款 第5条 第7号)

- 1) World Allergy Organization(WAO)との活動
 - ・WAO House of Delegates (2020-21)
日本アレルギー学会から3名の代表を登録(国際交流委員会担当理事、委員長、副委員長)
 - ・WAO Board of Directors, 各種Committee Council
本学会会員が参加し、世界のアレルギー研究者と交流。
President: 海老澤元宏理事
 - ・JSA/WAO Joint Congress 2020, September 17 - October 20, 2020, Online Meeting
WAO と合同で主催した国際会議。WAO との合同開催は、前回の1991年より30年ぶりとなった。
また、APAPARI (Asia Pacific Academy of Pediatric Allergy, Respiriology and Immunology) も企画、運営に参加。当初、京都で開催予定だったが、コロナ感染防止のため、ほとんどのプログラムがオンラインでの開催となった。
- 2) Asia Pacific Association of Allergy, Asthma and Clinical Immunology (APAAACI)との活動
アジアのアレルギー研究者と交流。

President: ルビー・パワンカール代議員

3) East Asia Allergy Symposium 2020 (EAAS2020)

JSA/WAO Joint Congressにて日本アレルギー学会が主催をして開催予定だったが、JSA/WAOがオンライン開催となり、大会規模縮小のため、2021年に延期となった。

4) EAACI Digital Congress 2020

EAACI (European Academy of Allergy and Clinical Immunology)の大会(2020年6月6-8日)が開催され、日本から3名の講演者がオンラインで発表をおこなった。

5) JSA-DGAKI Joint Meeting 2020

DGAKI (ドイツアレルギー学会)との合同ミーティングをJSA/WAOの直後に開催予定だったが、JSA/WAOがオンライン開催となったため、2021年に延期となった。

6) Kenji Mano Travel Grant

2020年は国際会議の多くがオンライン開催となったため、グラント募集は行わなかった。

8. 普及啓発活動(定款 第5条 第8号)

学会Webサイトの一般向けコンテンツ

- ・アレルギーに関する用語やアレルギーの解説、病気についての解説・Q&A等の掲載。
- ・本学会専門医の検索サイト掲載(都道府県、専門、氏名、病院名で検索)。
- ・関連機関からの一般市民向けの公開講座、患者会からの情報等掲載。

9. その他目的を達成するために必要な事業(定款 第5条 第9号)

- ・アレルギー免疫標準品の管理・承認

アレルギーの標準品の管理及びその使用について、協力会社と連携して行った。

- ・アレルギー情報センター事業(厚生労働省補助事業)

アレルギーポータルサイトの更新および保守管理、研修会の開催、研修資料の作成。

- ・第5回男女共同参画奨励賞

男女共同参画の促進を目的として「男女共同参画奨励賞(Gender Equality Encouragement Award)」を設け、男女共同参画の理念に基づいた活動をしている学会員、または所属機関を表彰・広報し、さらなる男女共同参画活動の推進を目指している。2020年度、第5回日本アレルギー学会男女共同参画奨励賞は、学会員及びその所属団体を対象に、学会誌及び学会ホームページにて公募し厳正なる選考のうえ、理事会において受賞者を決定した。

受賞者: 駒瀬裕子(聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院呼吸器内科)

III. 会議等

理事会・社員総会

1. 第5期 第4回常務理事会

日時: 2020年6月21日(日) 11:00~12:00

場所: ベルサール秋葉原

出席: 理事長、常務理事6名

2. 第5期 第5回理事会

日時: 2020年6月21日(日) 12:30~14:30

場所: ベルサール秋葉原

出席: 理事長、理事25名、監事2名、顧問2名

3. 第11回定時社員総会

日時: 2020年6月21日(日) 15:00~16:00

場所: ベルサール秋葉原

出席: 社員338名(委任状又は議決権行使書出席311名含)、監事2名、陪席2名

4. 第5期 臨時理事会

日時: 2020年7月28日(火) 19:30~20:10

場所: Web開催

出席: 理事長、理事25名、監事1名

5. 第5期 第5回常務理事会

日時: 2020年9月16日(水) 13:00~14:00

- 場所：日本アレルギー学会会議室
出席：理事長、常務理事6名
6. 第5期 第6回理事会
日時：2020年9月16日（水）14:30～16:40
場所：日本アレルギー学会会議室
出席：理事長、理事22名、監事1名、顧問2名
7. 第5期 第6回常務理事会
日時：2020年12月4日（金）19:00～20:30
場所：Web開催
出席：理事長、常務理事5名
8. 第5期 第7回常務理事会
日時：2020年12月8日（火）16:30～17:10
場所：日本アレルギー学会会議室
出席：理事長、常務理事6名
9. 第5期 第7回理事会
日時：2020年12月8日（火）18:00～20:00
場所：日本アレルギー学会会議室
出席：理事長、理事23名、監事2名
10. 第5期 第8回常務理事会
日時：2021年1月8日（金）18:00～19:45
場所：Web開催
出席：理事長、常務理事4名
11. 第5期 第9回常務理事会
日時：2021年2月3日（水）18:30～19:30
場所：Web開催
出席：理事長、常務理事6名
12. 第5期 第10回常務理事会
日時：2021年3月5日（金）14:30～15:30
場所：日本アレルギー学会会議室
出席：理事長、常務理事6名
13. 第5期 第8回理事会
日時：2021年3月5日（金）16:00～18:20
場所：日本アレルギー学会会議室
出席：理事長、理事23名、監事2名、顧問2名

各種委員会

○和文誌「アレルギー」編集委員会（2020年10月9日、12月23日、メール審議 2020年4月3日、4月20日、6月3日、7月2日、7月22日）

学術情報誌として内容の充実を図り、読者を意識した誌面作りを目指している。（学術大会特別演題演者からの「綜説」、「専門医のためのアレルギー学講座」は総合アレルギー講習会のテーマを基本に2号ずつシリーズを構成、「ガイドラインのワンポイント解説」は常に新しいガイドライン情報を提供する（年8編）、「アレルギー用語解説シリーズ」（専門医を目指す会員が知っておくべきレベルの用語解説を基本とし毎号3編）掲載、「私のアレルギー史」は名誉会員に寄稿を依頼（年1編程度））。

学会 Web サイトでは印刷誌発刊と J-STAGE を利用したオンラインジャーナルを発行し、電子書籍 KaLib にも掲載。メディカルオンラインにて順次、全文収載。

2016年10月よりオンライン電子投稿査読システム（ScholarOne）運用を開始。

アレルギー編集事務局会議においてメール審議を2020年6月12日、2021年2月8日に行った。

○英文誌「Allergology International」編集委員会（2020年9月27日）

Allergology International は、中島裕史編集委員長の下、順調に刊行されている。オンラインジャーナルはエルゼビアのScience Directより発行。冊子は、希望する会員のみ配布（発行1500部）している。2019

年インパクト・ファクター(IF)は4.806、2020年の投稿総数は356件で、ともに前年度比で1.2倍の伸びを示している。

○広報委員会・Web編集専門部会・啓発活動専門部会 合同会議 (2020年9月9日)

学会Webサイト関連について、若手医師・女性医師向けサイト「Allergology Now」のupdateを行うとともに、国際交流推進の広報支援、薬剤師・メディカルスタッフに対する広報活動等を進めている。

審議内容

若手医師向けWebサイト 理事長挨拶および若手医師・女性医師によるPRコメント動画 (第4弾～6弾) 更新、English Pageの充実、Allergology Now 基礎ページ新コンテンツ企画、メディカルスタッフ向け情報の充実 (役立つリンク集作成) など。

○総務委員会 (2020年4月、2021年2月)

2019年度事業報告書案、2021年度事業計画書案の検討。

○財務委員会 (2020年4月、2021年3月)

2019年度決算書作成、2021年度予算案の検討。

○長期計画委員会 (2021年3月1日、3月8日)

JSAの現在の課題、優先的に取り組むべき短期的、長期的課題について討議をした。

○定款・細則検討委員会 (2020年4月)

代議員及び役員選挙関連規程等の改正について検討。

○推薦委員会

研究助成、外部賞の公募情報について、学会Webサイトで会員に告知した。

○利益相反委員会 (2020年8月12日、メール審議: 7月2日、9月17日、10月16日)

「医学系研究の利益相反 (COI) に関する共通指針」2020年4月改訂による当学会の対応および日本アレルギー学会利益相反 (COI) 自己申告書の各種フォームと各開示様式について検討。

第6期アレルギー疾患ガイドライン委員会委員および喘息予防・管理ガイドライン作成委員会 (喘息GL専門部会)、鼻アレルギー診療ガイドライン作成委員会 (アレルギー性鼻炎GL専門部会)、アトピー性皮膚炎診療ガイドライン作成委員会 (アトピー性皮膚炎GL専門部会) の部会長及び部会員のCOIについて確認、答申。

○専門医制度関係

*試験問題作成委員会 (2020年7月9日)

令和3年度試験問題の作成方針および問題作成者を検討した。

*教育研修委員会 (2020年11月30日)

第59回および第60回専門医認定教育セミナーのプログラム案、講師候補を検討した。

「ノバルティスファーマ医学助成」に係る「出前授業による教育の機会創出事業」の公募について検討した。

*資格審査委員会 (2020年12月15日)

令和3年度認定専門医申請者の書類選考を行い、申請者262名全員の受験資格を認めた。

*令和3年度認定専門医試験 (2021年1月31日) は新型コロナウイルスの感染拡大により中止した。

*専門医制度・資格審査・試験問題作成・教育研修合同委員会 (2021年3月2日)

専門医、指導医、認定医、教育研修施設を認定、更新認定した。(専門医の認定はなし)

*専門医制度委員会 (2020年8月28日 メール審議: 2020年5月12日、11月13日)

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う専門医制度関連の救済措置、専門医試験の実施、試験問題作成委員会の任期の取り扱いについて審議した。

*新専門医制度対策特別委員会 (2020年7月17日、2021年2月18日)

*新専門医制度対策特別委員会拡大会議 (2020年8月3日)

*新専門医制度対策特別委員会WG

(2020年7月3日、2021年1月7日、1月28日、2月10日、2月19日、3月5日、3月22日)

日本専門医機構及び日本内科学会へ新専門医制度認定の為のレビューシートを提出した。新制度での施設認定基準、整備基準、カリキュラムの改訂を行った。

*新専門医制度対策特別委員会WGコア会議 (2020年12月10日)

*関連団体

「第2回内科系サブスペシャルティ15学会協議会」(2020年12月2日) にWeb参加

「第3回日本内科学会専門医制度審議会 サブスペシャルティ領域審査協議会」(2020年12月17日) にWeb参加

「第3回内科系サブスペシャルティ学会協議会」(2021年3月5日) にWeb参加

- 国際交流委員会（2020年8月4日、12月13日、JSA- DGAKI 2021に関する会議 12月6日）
 - *World Allergy Organization (WAO) との合同国際会議であるJSA/WAO Joint Congress 2020, September 17 - October 20, 2020, Online Meetingが開催された。
 - *WAO, Asia Pacific Assn of Allergy, Asthma and Clinical Immunology (APAAACI), European Academy of Allergy and Clinical Immunology (EAACI) などとの交流。
 - *DGAKI (ドイツアレルギー学会) との交流プログラムであるJSA-DGAKI 2021のプログラム編成について一部委員が会議に出席し、検討した。
- 研究推進委員会（2020年9月18日、11月26日、2021年1月26日 Web会議、メール審議）
 - 会員を対象に2020年度日本アレルギー学会研究支援プログラムと新設の基礎研究支援プログラムの審査、受賞者の選考を行った。
- アレルギー・免疫療法委員会(「皮膚テストの手引き」作成ワーキンググループ 2020年10月1日)
 - 「皮膚テストの手引き」の2021年発行に向けて、「皮膚テストの手引き」作成ワーキンググループを発足し、原稿執筆に着手した。「手引き」の出版社は、(株)協和企画。
- Anaphylaxis 対策委員会
 - 2014年発行の「アナフィラキシーガイドライン」の改訂版の出版にむけて準備をすすめている。
- 学術大会委員会（2020年10月21日、12月25日、メール審議）
 - 会長と共に学術大会を総括的に推進し、第70回大会において一般演題採択等に協力し、学会主導(学術大会委員会、学会事務局)の学術大会運営に関与している。
- 総合アレルギー講習会実行委員会
 - 第7回総合アレルギー講習会実行委員会（2020年6月25日、2020年11月13日、2021年5月31日（予定））
 - 第7回総合アレルギー講習会の開催概要、ハイブリッド開催様式、講義、実習プログラム等の内容の検討、当日の運営の確認。
- 学術賞選考委員会（2021年2月9日、メール審議：2020年8月7日、2021年2月25日）
 - 2020年度海外研究留学助成金応募者の募集、選考を行い、受賞候補者4名を選出。第17回学術大会賞応募者の募集、選考を行い、受賞候補者5名を選出。海外研究留学助成金に関するメール審議を実施。
- アレルギー疾患ガイドライン委員会（2020年8月25日）
 - 「英文ガイドライン」の発行。「喘息予防・管理ガイドライン2021」（JGL2021）、「アトピー性皮膚炎診療ガイドライン2021」の執筆、編集作業。「喘息予防・管理ガイドライン2024」（JGL2024）の作成方針検討。
- 医療問題検討委員会（メール審議：2020年7月31日、12月1日）
 - 会員に向けて、本委員会が関与して討議解決すべき医療問題提示についてメール配信を行った。
- 診療報酬検討委員会（2020年10月26日、12月11日、メール審議：2020年11月16日、12月21日）
 - 2022年度診療報酬改定提案書を提出した。また、この提出に向けて関連学会とも調整を行うとともに、内科系学会社会保険連合会(内保連)の活動に参加した。
- 用語委員会
 - アレルギー学用語集(改訂版)の発刊に向けて用語の精査、確認作業。厚生労働省社会保障審議会統計分科会「疾病、傷害及び死因分類専門委員会」及び日本医学会分科会用語委員会に出席。
- 男女共同参画委員会（2020年12月7日 メール審議:2020年6月4日、11月11日、12月14日、2021年2月15日）
 - 第5回男女共同参画奨励に受賞者を選考。第70回学術大会時開催の男女共同参画委員会企画セミナーのプログラムの作成、演者の選定、展示ブースの企画検討。
 - [特別委員会]
- アレルギー疾患対策基本法特別委員会（2020年6月29日）
 - アレルギー疾患対策基本法に則した施策の検討、厚生労働省助成事業等の実施。

[その他委員会]

- 臨床アレルギー講習会ワーキンググループ
 - 第3回臨床アレルギー講習会ワーキンググループ（2020年6月3日 メール審議:2020年5月28日、6月25日、10月21日、12月23日）
 - 第3回臨床アレルギー講習会の運営方針、Web開催方式の検討、当日の運営の確認。
 - 第4回臨床アレルギー講習会ワーキンググループ（2021年1月25日 メール審議:2021年2月1日）
 - 第4回臨床アレルギー講習会の開催概要、運営方法、プログラム、日程、受講料の検討。

- IT推進ワーキンググループ（2020年5月25日、8月4日、9月4日）
新会員管理システム構築に係る検討
- 会員拡充検討ワーキンググループ（2020年5月8日）
医師会員の拡充戦略ほかについて検討
- JSA International Membershipについての合同会議（2021年1月23日）
海外からの会員資格を設置するための条件などについて関連委員会委員長が討議した。
- オンライン学習特別委員会（2021年2月15日）
「ノバルティスファーマ医学助成」に係る「e-learningによる最新のアレルギー診療に関する教育の機会創出事業」のスケジュールおよびコンテンツテーマについて検討した。
- COVID-19調査特別委員会（2020年7月～メール審議）
日本国内でのCOVID-19流行における気管支喘息患者および医療従事者への指針作成に必要なデータを収集、解析し、すみやかに発信することを目的として、新設された。成人喘息部会と小児喘息部会から構成されている。関連団体と共同でインターネット調査を実施し、その結果に基づいた論文を学会誌へ投稿した。
 - ・COVID-19調査特別委員会ワーキンググループ（2021年2月11日 Web会議 他メール審議）
ワクチン接種に向けたアナウンスメントを作成し、学会Webで公開した。和文誌アレルギーに綜説論文として掲載した。また、厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会にも協力している。
- 選挙管理委員会（2020年7月31日、2021年1月15日代議員選挙、3月26日役員選挙）
2020年度代議員および役員選挙の開票を実施。当選者を確定した。
- 災害対策合同委員会（2020年10月2日）
日本アレルギー協会、日本小児アレルギー学会、日本小児臨床アレルギー学会で構成している合同委員会において今後発生することが予測される大規模災害への対応等について検討した。